

情 報 公 開 文 書

研究の名称	85歳以上の高齢者胆道癌症例に対する治療の現状調査
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究の概要	<p>【研究対象者】 2011年9月1日から2023年5月の期間内で胆道癌の診断時に85歳以上の症例</p> <p>【研究の目的・意義】 胆道癌は画像診断技術が発達した現在でも早期発見が困難であり、進行癌の状態で見られることが多い疾患です。特に高齢者は非高齢者に比較して進行度がStageIVの症例が多く見られます。近年では本邦の高齢化の進行に伴い85歳以上の超高齢者の胆道癌患者が増加しています。高齢者においても安全に手術ができるようになってきていますが、高齢者は併存疾患などのため全身状態が不良で外科的切除の適応外となる症例や手術拒否する症例も多いです。また根治切除不能の胆道癌に対しては化学療法が治療の選択肢となりますが、超高齢者における化学療法の有用性、安全性については明確なエビデンスがないのが現状です。そこで当施設における85歳以上の高齢者胆道癌症例において、治療方針や予後、転帰につき検討を行います。</p> <p>【研究の方法】 本研究は2011年9月1日から2023年5月の期間内に当院にて85歳以上の胆道癌に対して精査加療を行った症例を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対応表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータ(病理結果、治療方針、最終診断)はカルテ上に存在する検査画像やレポート、診療記録等を使用します。他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系内科学(第三)教授 安田一朗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

対応窓口	電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail entntsk@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第三内科 病院特別助教 圓谷俊貴
------	--